

第21回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成21年2月

応募者名：島根県 土木部 雲南県土整備事務所

事業の名称：新庄飯田線都市計画街路事業

実施都市名：島根県雲南市

事業目的

新庄飯田線は、雲南市大東町の中心市街地と国道9号、雲南市木次町の国道54号を結ぶアクセス道路として計画決定された幹線道路です。

本路線はバス路線・小中学校の通学路を兼ね、周辺にJR駅・病院・中学校などの公的施設が集中しており、特に朝夕には踏切があることにより渋滞が発生し、通勤通学に支障を来していました。本路線の整備により、交通混雑の解消、自転車歩行者の安全確保、商業活動の活性化促進、沿線の良い環境形成が図られ、安全性・利便性の向上により地域の発展に寄与します。

事業概要

事業名：新庄飯田線都市計画街路事業

路線名：新庄飯田線

事業箇所：島根県雲南市大東町

事業延長：340m

幅員：23m(2車線)

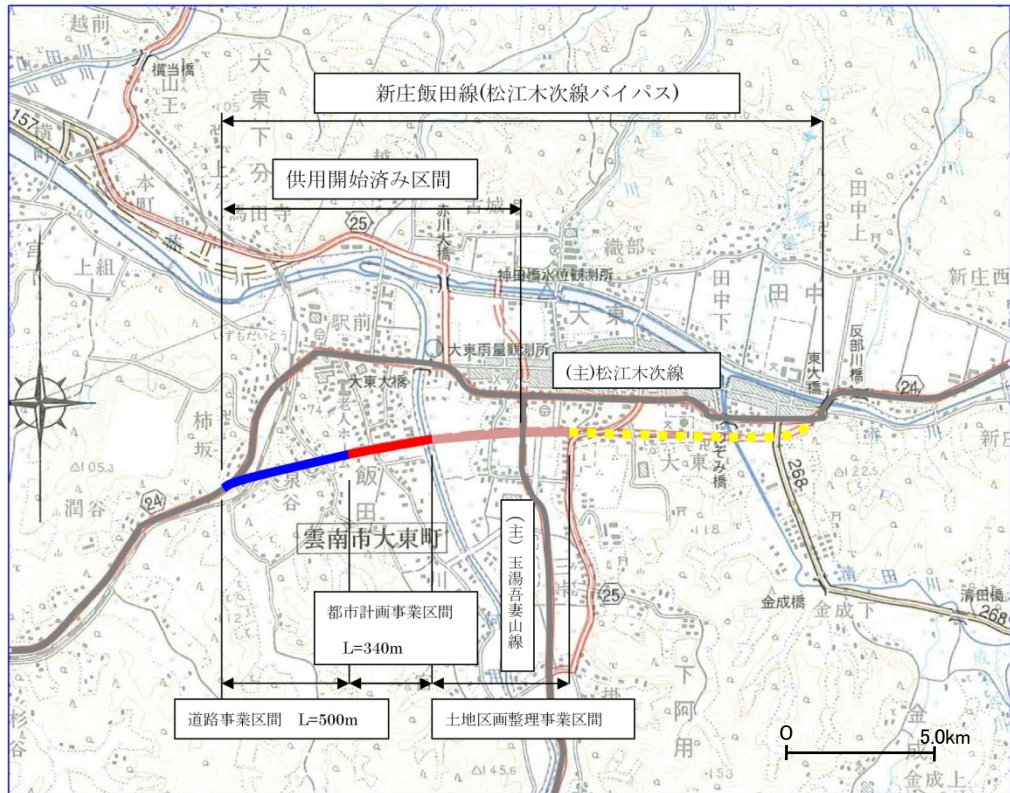
総事業費：約14億円

事業期間：平成15年度～平成19年度

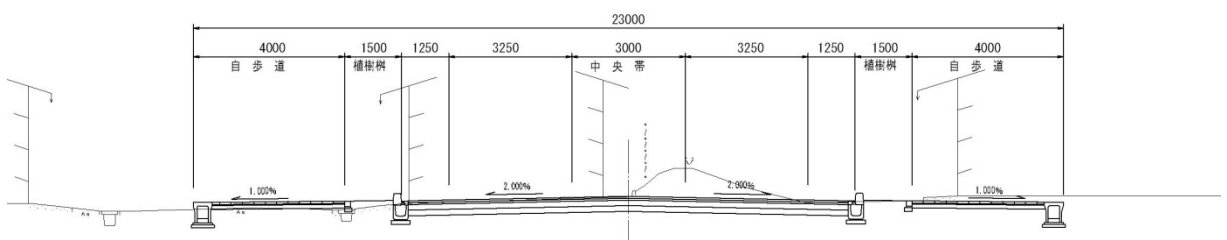
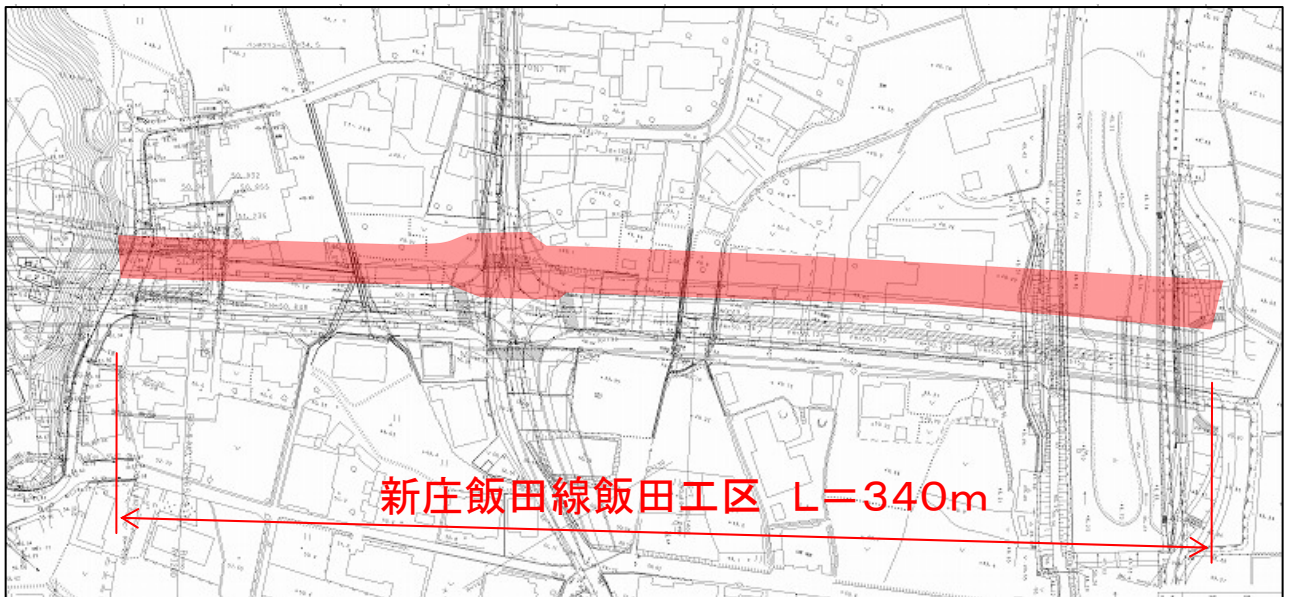
本事業は、道路事業及び土地区画整理事業と連携し、バイパス全体延長約2.2kmの半分に当たる約1.1kmの区間のうち、約0.3kmを整備したものである。

幹線道路としての交通の円滑化及び市街地の交通混雑解消のため、右折レーンの整備を行うとともに、自転車及び歩行者の安全確保のため、両側への幅広い歩道の整備を行い、安全安心快適な道路整備と商業活動の活性化及び沿線の良い市街地形成の支援を図っている。

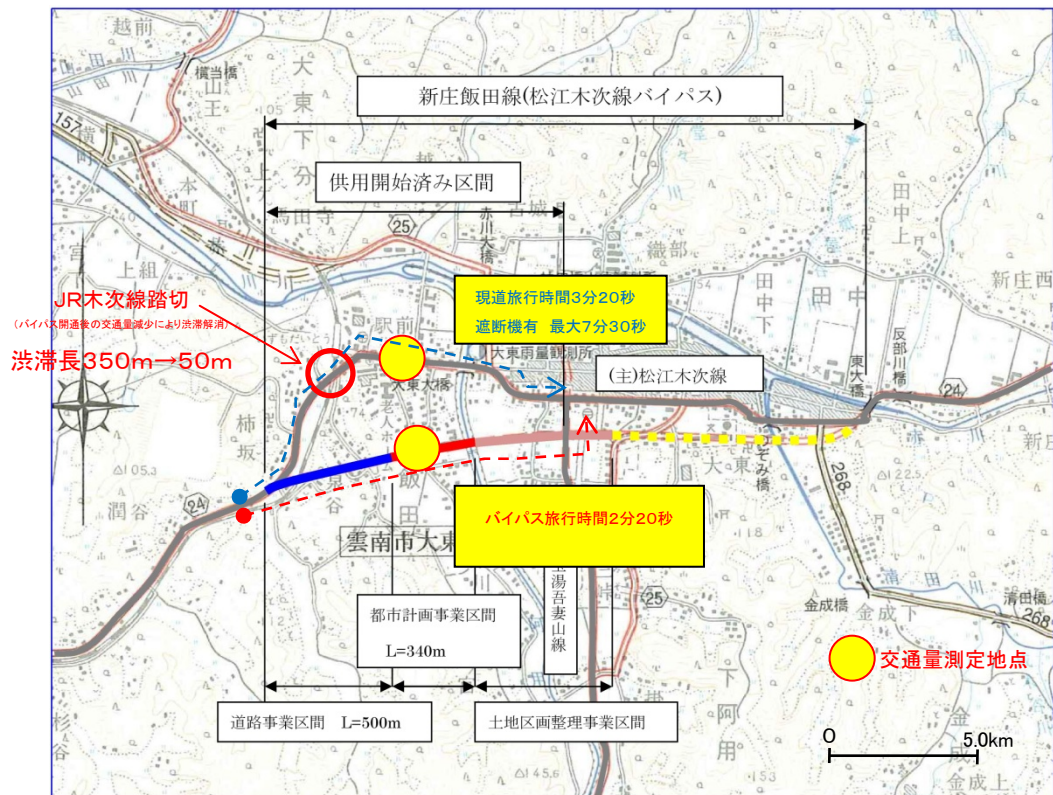
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



新庄飯田線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:新庄飯田線都市計画街路事業
 路線名:新庄飯田線
 事業箇所:島根県雲南市大東町
 事業延長:340m
 幅員:23m(2車線)
 総事業費:約14億円
 事業期間:H15~H19年度

○交通量調査結果

供用前 平成20年7月16日
 供用後 平成21年1月21日

現道交通量	8300台→	4700台
バイパス交通量		5300台

「整備効果」

○旅行速度の向上(渋滞の解消)

旅行時間3分20秒→2分20秒

踏切遮断機有りの場合、

旅行時間7分30秒→2分20秒

○踏切での渋滞解消

踏切平面交差→跨線橋で鉄道横断

踏切周辺渋滞長350m→50m

「その他の事業効果」

○歩行者・自転車の安全性の向上

歩道狭小→両側に幅広歩道

○土地区画整理事業による市街地整備地区の活性化促進

事業前



事業前:H15. 6撮影



事業後(渋滞減少):H20. 10撮影



事業前写真



平成16年10月撮影



平成17年6月撮影



平成16年5月撮影

事業後写真

平成20年9月撮影



平成21年2月撮影



平成21年2月撮影